

ひらつつかか青指だより地区活動特集



横内地区

金田地区

崇善地区

八幡地区



NO. 141  
令和6年12月1日

- 金田地区 バルーンアート体験
- 崇善地区 湘南よさこい「よっちょれ」
- 金田地区 公民館まつりフランクフルト
- 横内地区 サンバカーニバル
- 八幡地区 公民館まつり射的コーナー
- 横内地区 よこうちハロウィン (左上から時計回り)

平塚市では、市内28小学校区で地区青少年指導員協議会を設置しています。各地区で他団体と連携しながら青少年の健全な育成を図るため、いろいろな活動をしています。この号では青少年指導員の地域活動の一部をご紹介します。キーワードは『子どもたちの笑顔と青いジャンパーやポロシャツを身につけた青少年指導員』です。



■横内地区

10月19日(土)第54回横内地区子ども大会よこうちハロウィン(よこハロ)を開催しました。前日土砂降りの雨でしたが、メイン会場の横内中学校はとても水はけが良く、当日は晴れて天候にも恵まれました。開会式後、【プログラム1】よこハロウォーク(スタンプラリー)を横内中吹奏楽部の生演奏に合わせて参加者がチームごと各チェックポイント(CP)にお菓子のプレゼントを求めスタートしました。横内公民館(CP1)では、横内公民館の皆さん・横内小PTA・横内中OGが、お菓子と横内小PTA作スタンプでお出迎え。若草保育園(CP2)には、若草保育園の皆さん・横内中OGに加え大学生サポーターがお出迎え、若草保育園職員さん作スタンプも大人気でした。平塚湘風高校(CP3)は、当日文化祭も開催の中、校長先生や教職員の皆さん、生徒会、生徒の皆さんにお出迎えされ、展示品なども見る事ができました。横内中学校(CP4)に戻ってくると、スタッフや横内小OBOGにハッピーハロウィン

青い仲間の地区活動特集

平塚市青少年指導員連絡協議会

ンのお出迎え、横内中美術部装飾ブースには、校長先生、教頭先生、教務の先生、横内中PTAの皆さんがお出迎え、横内中美術部作スタンプに、横内中OG作よこ八口缶バッジもプレゼントされました。

交通安全協会の皆さん、横内連合自治会や各種団体の皆さん、横内小校長先生、横内中校長先生、先生方の見守りのご協力により、みんなちょっと疲れた感じはありましたが、子どもから大人まで笑顔でゴールしておりました。

【プログラム2】サンバカーニバルでは、有志による先導のもと、よこ八口ウォークのチーム対抗で、マツケンサンバⅡを踊りました。音楽は横内中吹奏楽部顧問の先生が録音してくださった吹奏楽部の演奏を流し、照れながらもみんな元気に踊っていました。その元気な子どもなどを審査対象とし、チーム表彰を横内小PTA会長より贈呈されました。



【プログラム3】〇×クイズ選手権においては、横内や平塚に関する問題出題し、子どもから大人までどっちなと悩みながら参加しておりました。こちら表彰対象となっており、アフロのおじさんと勝ち残った2名の小学生にお菓子トロフィーを横内中校長先生から贈呈されました。



【プログラム4】エブリバディダンスは、公民館利用団体のダンス講師によるレッスンがあり、子どもから大人(各種団体の皆さん、教職員、スタッフ)全員で、ダンス講師に「照れたらダンスは出来ないよ！間違えてもOK！」と言われ、戸惑いながらもみんな楽しく踊っていました。

今年は、横内中学校40周年、若草保育園と横内公民館50周年の記念の年ということで、各種団体による模擬店やミニゲームコーナーもご協力頂き盛大に総勢約580人での開催となりました。事故やけが、熱中症も心配されましたが、無事終了しました。

実行委員会・地域各種団体・若草保育園・横内小学校・横内中学校・平塚湘風高校の皆様、そして横内小学校、横内中学校 OBOG のみなさん 司会・受付・各所サポート・片付けまで本当にありがとうございました。とても楽しいイベントになりました。

## ■金田地区

みなさん、こんにちは！今回の「青指だより」では、金田地区青指が取り組んでいる地域活動についてご紹介します。私たちの活動は、地域の子どもの健全な成長を支援し、地域全体の絆を深めることを目的としています。以下に、主な活動内容をお伝えします。



【1.子ども大会 陶芸体験教室 ~今日から君も陶芸家~】子どもたちの創造力と集中力を育むことを目的に、陶芸の基本技術を学びながら、自分だけの作品を作製しました。陶芸の専門家を招き、粘土の扱い方や基本的な成形技術を教えていただきました。子どもたちは自由に形を作り、カップや皿、動物のフィギュアなどを制作しました。参加者数は児童、保護者含め約100名で、昨年も参加した児童からは「今年はこういうのを作るぞ」という声も聞かれました。校長先生や中学生ボランティアの協力が大成功に繋がり、参加者からは笑顔が溢れていました。「来年はこういうのを作るぞ！」といった声も聞こえ、金田地区青指としては恒例行事として行っていかなければという使命感を感じています。

【2.秋祭り バルーンアート体験】子どもたちの創造力と協調性を育むことを目的に、バルーンアートの基本を学びながら楽しく作品を作製しました。青指メンバーで動画を見て作り方を覚え、当日は学校内の図書室で約40人の児童と一緒に盛り上がりました。今回作製した作品は「剣」「ハートフラワー」「イヌ」「クマ」の4つで、子供たちは初めてのバルーンアートに興味津々で取り組みました。自分の作品が完成したときの喜びの表情が印象的で、今後はより複雑な作品にも挑戦したいと考えています。(1面写真)



【3.公民館まつり フランクフルト&かき氷】地域の方々との交流を深めることを目的に、祭りの2日間、フランクフルトとかき氷の販売ブースを設置し、中学生ボランティアと一緒に調理や販売を行いました。フランクフルトは焼きたてを提供し、かき氷は様々なシロップでカスタマイズできるようにしました。多くの地域の方が訪れ、大好評でした。特にかき氷は列ができ、子どもたちが自分で選んだシロップを楽しんでいました。祭り開催中、笑顔が溢れる場面が多く見られ、地域の方々との交流も深まりました。(1面写真)

このように、私たち金田地区青指は地域の子どもの健全な成長を支援するために、様々な活動を行っています。今後も地域の皆さまと協力しながら、子どもたち

## ■広報委員のつぶやき

大きな声でつぶやきます。「子ども」は、かけがえのない大切な存在です。子どもたちの笑顔は、魔法のようで、彼らにこやかな顔は、あっという間に私の口元を緩ませます。地域の活動の中で子どもたちとおしゃべりをしたり、遊んだりすると、心がほんわかと温かくなって、時には自宅で思い出笑いもできます。子どもたちの笑顔が大好きなおじちゃん、おばちゃんが集まっているのが青少年指導員です。私は、子どもたちがいっぱい笑っている地域であると最高に嬉しいです。 大原地区 大和田マイ子

が安心して成長できる環境を整えていきたいと思ひます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## ■崇善地区

崇善地区(宮の前)青少年指導員は、季節ごとのイベントや防災訓練等が定期的に開催され、地域住民が集まって交流を深めています。春には花見、夏には盆踊りや夏祭りが行われ、地域の子供たちから高齢者まで、世代を超えた交流が生まれています。自治会、公民館、小学校、中学校、地域団体等関わりを持って年間の活動を行っています。



今回は夏に行われた納涼祭の様子をお伝えしようと思ひます。感染症に気を付けながら8月2日(金)3日(土)と2日間例年通り夏の納涼祭が行われました。準備では櫓を組み提灯を飾り付け音響を準備して夜を待ち、青少年指導員は音響関係を担当しました。盆踊りで一番盛り上がるのはやはり子供達の人気の踊り「よっちょれ」です。いつも盛り上がります。「もう一回踊りたい！」という声もいつも多く寄せられています。(1面写真)

「湘南よさこい」は子どもからお年寄りまで世代を超え、そして踊り子同士の地域を越えた、人間の大きな交流の輪を形成する事と地域経済の活性化を図る事を目的とされているそうで多くのチームがエネルギー溢れる踊りを披露しています。そのお祭りでは地元住民や外部の参加者が集まり音楽に合わせて自由に踊ることが出来るイベントが開催され、地域活性化や住民同士の交流を深める場と聞いています。「よっちょれ」はよさこい踊りの中でも特に人気のある曲で、そのリズムカルな音楽と簡単な振り付けから、多くの人が楽しめる踊りとなっているそうです。小学校の運動会の「よっちょれ」は見ているだけでも迫力があり一度は見たいと思ひます。

青少年指導員の活動は、未来を担う子どもたちの成長を支える重要な柱となっていると思ひます。障害があってもなくても、すべての人が等しく尊重され快適に生活できる場所で、共感と協力のもと住みやすい共生社会の実現において非常に重要だと思ひます。バリアフリーな地域づくりは、物理的なバリアだけではなく、社会的なバリア、心のバリアも取り除く事が大事です。活動を通じて子どもたちが地域社会に関わりながら健全に成長できるよう地域の絆を強め、安心して暮らせる地域づくりを目指し、多くの住民に支えられながら青少年指導員として携わっていこうと思ひます。

## ■八幡地区

八幡地区青少年指導員の1年間の主な地区活動を報告いたします。

【子ども神輿巡行】境内にて平塚八幡宮の宮司に安全祈願をしていただき、大迫力の大神輿を見送り、いよいよ宮発ちです。「わっしょい！」と元気な掛け声ともに巡行します。途中雨も降りましたが、ゴール地点に笑顔でたどり着きました。

【公民館一泊防災体験】避難所でのレクリエーションを担当します。「フラフープくぐり」青指チームも参戦。チームごとにどうしたら速くなるか作戦を立てどんどん速くなっていました。「しんがん島」小さくなる新聞紙に工夫し最後まであきらめず乗ろうとする子どもたちの粘りが印象的でした。「私は誰でしょう？クイズ」ほとんど答えというヒントを出し答えを当てさせるゲームになっていました(笑)が、主事が回答者になるとヒントが難しくなり残念ながら外れてしまいました。



【市民体育レクリエーション大会】今年度は小学校の大規模改修工事のため、グラウンドを3分の2使用して競技を行いました。今年から、以前子ども大会で行われていたパン食い競争が加わりました。子どもも大人もゆらゆら揺れるパンに悪戦苦闘しながら競技を楽しんでいました。



【八幡小学校ふれあいフェスティバル】各種団体が催し物を小学校で行います。工作コーナーを行いました。3種類の工作から作りたいものを選んでもらいます。試作の時はスムーズでしたが、悪戦苦闘する子どもの対応に四苦八苦。子どもから「先生！」と呼ばれ戸惑いましたが、『先に生まれた人！』と開き直り元気に返事をしました。

【公民館まつり】公民館主事曰く…「一番人気の射的コーナーを行います。」工作担当力作の台の上に、手作りした的を置きます。コルク銃的的を狙う時の顔は真剣です。中には早くもコツをつかみ、レクチャーしてくれます。言うとおりに打つとよく当たりました。(1面写真)

「無理なく楽しく活動を！」を合言葉に活動しています。仕事や家庭とは違う別のコミュニティは、気づきやヒントがある活動になっていると実感しています。使命感もほどほどに持ち、これからも自分たちが楽しいと思える活動を続けていきたいです。

## ■広報委員会

委員長  
委員  
事務局

大和田マイ子(大原)  
宮田憲太郎(花水)伊東多恵子(豊田)土屋裕之(神田)川口隆史(城島)  
村形伸一(金田)石井康仁(真土)田邊貴也(なでしこ)伊川真理(松延)  
高島正和(青少年課)米山賢汰(青少年課)